

乳幼児発達学科

卒業要件

- ① 修業年限を満たすこと
- ② 全科目の修得単位の合計が124単位以上あること
- ③ 卒業時における累積GPAが2.00以上であること
- ④ ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群7単位、教職関連科目群の体育1単位を修得していること
- ⑤ 乳幼児発達学科の必修12科目20単位、必修選択3科目6単位以上を修得していること

卒業までの単位配分

ユニバーシティ・スタンダード科目	
玉川教育・FYE科目群	7単位
教職関連科目群（体育）	1単位以上
科目群	116単位
教育学部必修科目	20単位
教育学部必修選択科目	6単位以上
選択科目	任意（注1）
計	124単位以上

（注1）選択科目は教育学部科目、ユニバーシティ・スタンダード科目、他学部他学科科目、500番台科目、単位互換科目を含む

1 乳幼児発達学科必修科目

科目名称	単位数	開講セメスター	備考	計20単位修得
英語リテラシー	2	1～2	大学レベルの基礎的リテラシーを養います	
情報リテラシー	2	1～2		
教育学概論	2	1	教育学の基礎学習を行います	
教職概論	2	2		
教育実践研究Ⅰ	1	3	キャリア研修を主体とする教育学部独自の担任ゼミです	
教育実践研究Ⅱ	1	4		
教育学基礎演習Ⅰ	1	3	専門領域におけるリテラシーと研究能力の基礎を養います	
教育学基礎演習Ⅱ	1	4		
教育学演習Ⅰ	2	5	特化された領域における自立（自律）的研究能力を養います	
教育学演習Ⅱ	2	6		
卒業課題研究Ⅰ	2	7	特化された領域を基盤とした大学4年間における教育学研究の集大成です	
卒業課題研究Ⅱ	2	8		

2 乳幼児発達学科必修選択科目

科目名称	単位数	開講セメスター	備考	計6単位以上修得
教育哲学	2	2	各専門分野の概論となる科目。3科目6単位以上を選択履修します	
教育心理学	2	2		
教育史概論	2	2		
教育方法学（ 幼小 または 中高 ）	2	2		
教育社会学	2	2		
特別支援教育	2	2		
発達心理学	2	2		
教育行政学	2	2		

トル →

履修モデル

プログラム		将来の進路
幼児教育プログラム	▶▶▶	幼稚園教諭など
乳幼児保育プログラム	▶▶▶	保育士（保育所、乳児院、児童養護施設）など
児童福祉学研究プログラム	▶▶▶	児童指導員（児童養護施設・児童自立支援施設） 児童厚生員（児童館） 児童福祉司（児童相談所）など

履修モデル A 幼稚園教諭を目指すモデル

現在、全国各地で数多くの卒業生が現職の幼稚園教諭として活躍しており、各方面から高い評価を得ていることが、このモデルへの強い動機づけとなっています。

このモデルでの学修をとおして、幼児教育のプロフェッショナルに求められる専門的知識・技術を修得し、子どもの成長・発達、学問の進展、社会のニーズといった諸側面からの確に幼児教育を捉え、幼児教育を通じて社会文化の発展を担える専門職の養成を行います。

【志向するキャリア】

主に国公私立の幼稚園の教員

履修モデル B

保育所の保育士、乳児院、児童養護施設等の専門職や幼稚園教諭を目指すモデル

乳幼児、就学前の保育や教育に関わる専門職の育成ニーズは、いまだに増加の傾向にあります。

その理由には、就学前の保育や教育の多様化があります。少子化の一方で、女性労働の増加、一人の子どもに対する多様な保育および教育のニーズが発生しており、こうしたニーズに応えます。

【志向するキャリア】

保育所、その他の児童福祉施設（乳児院・児童養護施設等）の専門職、幼稚園、認定こども園、子育て支援施設、大学院進学（乳幼児科学領域）等